

# Breaking Bad News

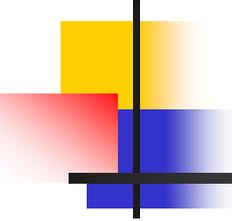
by Peter Kaye

A ten step approach

—癌告知を上手に伝えるためには—

医療法人社団曙会 シムラ病院

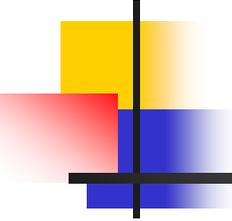
澤村 明廣



# Breaking Bad News

---

- Breaking bad newsの基本的な理解
- A ten step approach
- 追加: コミュニケーション・スキルの基本



## How not to do it -1

---

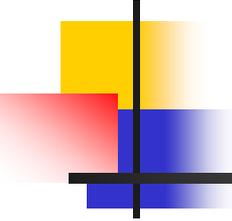
医師:レントゲンでちょっとした「**病変**」が見つかりました。

患者:どういうことですか？

医師:たいして悪いことではないんです。今まで通り  
診ていきましょう。

患者:夏にはどこか旅行に行けますか？

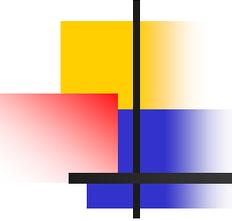
医師:家の近くで過ごされるのがベストだと思います。



## How not to do it - 2

---

**医師: このCTでは、腫瘍が肺に広がっています。  
ホスピスはどうですか。ホスピスの方が  
あなたに手厚いケアをしてくれますよ。**



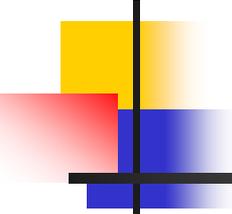
## How not to do it - 3

---

**患者:先生,私は癌ですか?**

**医師:ええ,そうですね,癌だと思います**

**患者の家族から「どうか本人には本当のことを伝えないでください」と言われたとき**



# Breaking Bad News とは？

## 悪い知らせを上手に伝えること

Bad newsとは、患者の将来への展望を徹底的に悪い方向へ変えるさまざまな情報として定義される。

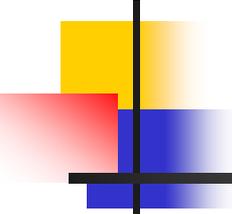
悪い知らせを上手に伝えることは卵を割ることに似ており、ある程度の熟練が必要とされる

Breakingとは、何かが壊れることを意味し、壊れるものは患者の将来全体の理想像である。それは悪い知らせが途方もないショックだからである。

だから、それは慎重にされなければならない

悪い知らせを最初に知らされる方法は、患者・家族双方にとって以後の対処の仕方に影響を及ぼす

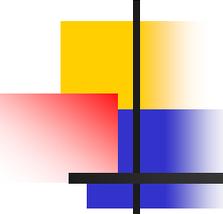
悪い知らせを上手に伝えることは、  
すべての医師にとって重要な熟練である。



# 医師には説明義務がある

---

- 基本的には患者本人に対する義務であるが、説明により患者に不利益が生じると考えられる場合にはキーパーソンへの説明義務がある。
- 告知も説明義務に含まれる。
- 告知が患者の不利益に成るかならないかを論じるよりも如何に上手に伝えるかを学ぶべきである。

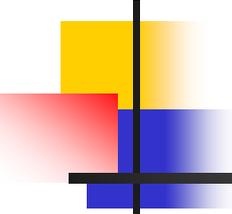


# 患者は悪い知らせを聞く 義務ではなく権利を持っている

多くの患者は二つのことを望んでいる

1. ある程度の情報量(質ではない)
2. 自分の状況について話したり考えたりする機会  
(言い換えれば治療上の対話)

悪い知らせを上手に伝えることは時間を  
浪費する必要はない。患者の満足度は  
費やされた時間によるのではなく、  
相互作用の質によるのである



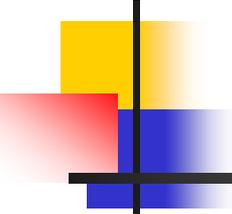
# 悪い知らせを上手に伝えることが なぜ重要なのか

---

1. 信頼を維持するために
2. 不確定さを減らすために
3. 不適當な望みを持ち続けさせることは困惑させるだけである。
4. 適切な調整を許すこと(感情的にも)
5. 黙殺(もみ消し)の申し合わせを防ぐこと

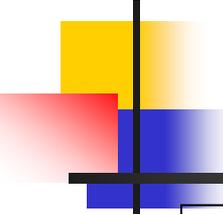
## キーポイント

**悪い知らせを上手に伝えることは信頼関係を  
維持するための本質である**



# なぜ医師は悪い知らせを伝えることを嫌うのか

1. 伝えることを熟達しても何の役にも立たないと感じているから  
(私が何か害を与えたらどうしよう)
2. 病気のことを説明することで患者、家族、同僚(患者・家族を狼狽させ、なかせることにより)から非難されるから
3. 反動を抑えきれなくなるから(もし患者が制御しきれなくなるくらい泣いたらどうしよう)
4. 患者を治すことができないことで患者を失望させるから  
(通常患者は奇跡より親切なほうを望むけれども)
5. 医師として患者に同情してしまうことが怖いから
6. 十分な時間がないから



# How not to do it -1

医師:レントゲンでちょっとした「**病変**」が見つかりました

患者:どういことですか？

医師:たいして悪いことではないんです.今まで通り診ていきましょう

患者:夏にはどこか旅行に行けますか？

医師:家の近くで過ごされるのがベストだと思います

これは「表面だけの優しさ」アプローチ

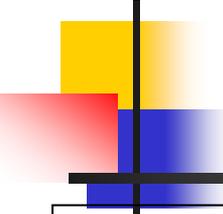
医師は心配しているように見える

しかし,患者には理解できない専門用語を使っている

そして,問題点をオープンにしないで避けている

休日についての話の問題点をすり替えて伝えている

やさしく伝えようとしているがこのアプローチでは患者は混乱し,憤りを覚える



## How not to do it - 2

医師:このCTでは、腫瘍が肺に広がっています。ホスピスはどうか、ホスピスの方があなたに手厚いケアをしてくれますよ

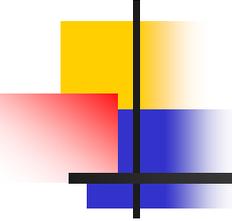
これは「ヒットエンドラン」アプローチ

患者は医師の都合の良いときに言われている。

従って患者やその場に居合わせた家族は言われたことに何も言えない。

役に立つ情報がどれくらいあるのかも訊けない。

**悪い知らせを上手に伝えるためには、まず適当な質問からはじめるべき**



# 直接的な質問に対する対応の仕方

## 先生、私は癌ですか？

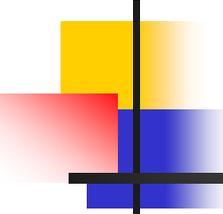
患者が質問してきたことに患者の言葉でオウム返しに質問しないで

1. なぜ、あなたは癌だと思うのですか？
2. もっと知りたいことがあるのかたずねなさい
  - ・あなたは自分の病気についてどんなことを知っていますか？
  - ・ご自分の病気についてもっと知ることがあなたのお役に立ちますか？
  - ・あなたの病気についてお話しするのはご家族と一緒にの時のほうが良いと私は思いますがいかがですか？
3. 患者の擁護者でありなさい

# 家族から「どうか本人には本当のことを 伝えないでください」と言われた時の対処の仕方

1. 家族に会うことを患者から許可を得なさい。もし患者が家族と一緒に話を聞きたいといったならば患者もオープンであることを望んでいると思われる。そのときは患者に「あなたは病気のことをどのように理解していますか」と尋ねなさい
2. 患者の家族と話しなさい  
この目的は、あなたが患者と話をして安全であると家族が感じ、そして彼らの信頼を得るためである。
  - ・家族が患者のことを最もよく知っているのだと断言しなさい
  - ・病気についてどの程度理解しているのかを確認しなさい
  - ・なぜ言わないほうが良いと思うのか聞き出しなさい
  - ・言わないことでの損失についてチェックしなさい
3. 患者と家族と一緒に話をしなさい

**キーポイント** 「絶対言わないでください」は  
「患者を傷つけないでください」と同義である



# Breaking bad newsの応用編

---

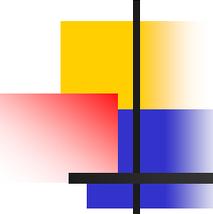
進行直腸がんの患者で根治術には直腸切断術が選択される  
(人工肛門を造設する必要がある)場合

外科医師: 癌を取り除くためには, 人工肛門を造らないといけません

患者: 先生, 私はどうしても人工肛門を造りたくないんです.

外科医師: それでは, 手術はできませんね. 化学療法科で相談してください.

なぜ, 人工肛門を造りたくないんですか?  
と尋ねることから始めましょう



# 悪い知らせを上手に 伝えるための10のステップ

## 1. 準備

患者や家族と話をする前に事実をすべて把握しておくこと。患者が誰がそばにいてほしいと思っているのか見つけだしなさい。  
そして、プライバシーと椅子を用意しなさい。

## 2. 患者は何を知っていますか？

患者に尋ねなさい。(それは、いつからどのようにして始まりましたか)

## 3. もっと情報が求められているのか

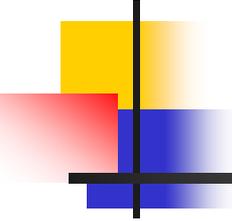
成り行きを見なさい。しかし、もっと情報を与えること  
(もう少し説明しても良いですか)が患者を怖がらせている事に気づきなさい

## 4. 警告の一撃を与えなさい。

たとえば、「それはかなり深刻な問題だと思えます」と切り出した場合、  
患者が反応するまで待ちなさい。

## 5. 拒絶を許しなさい

拒絶は防御であり、対処法の一つである。  
患者が情報の量をコントロールすることを許しなさい。

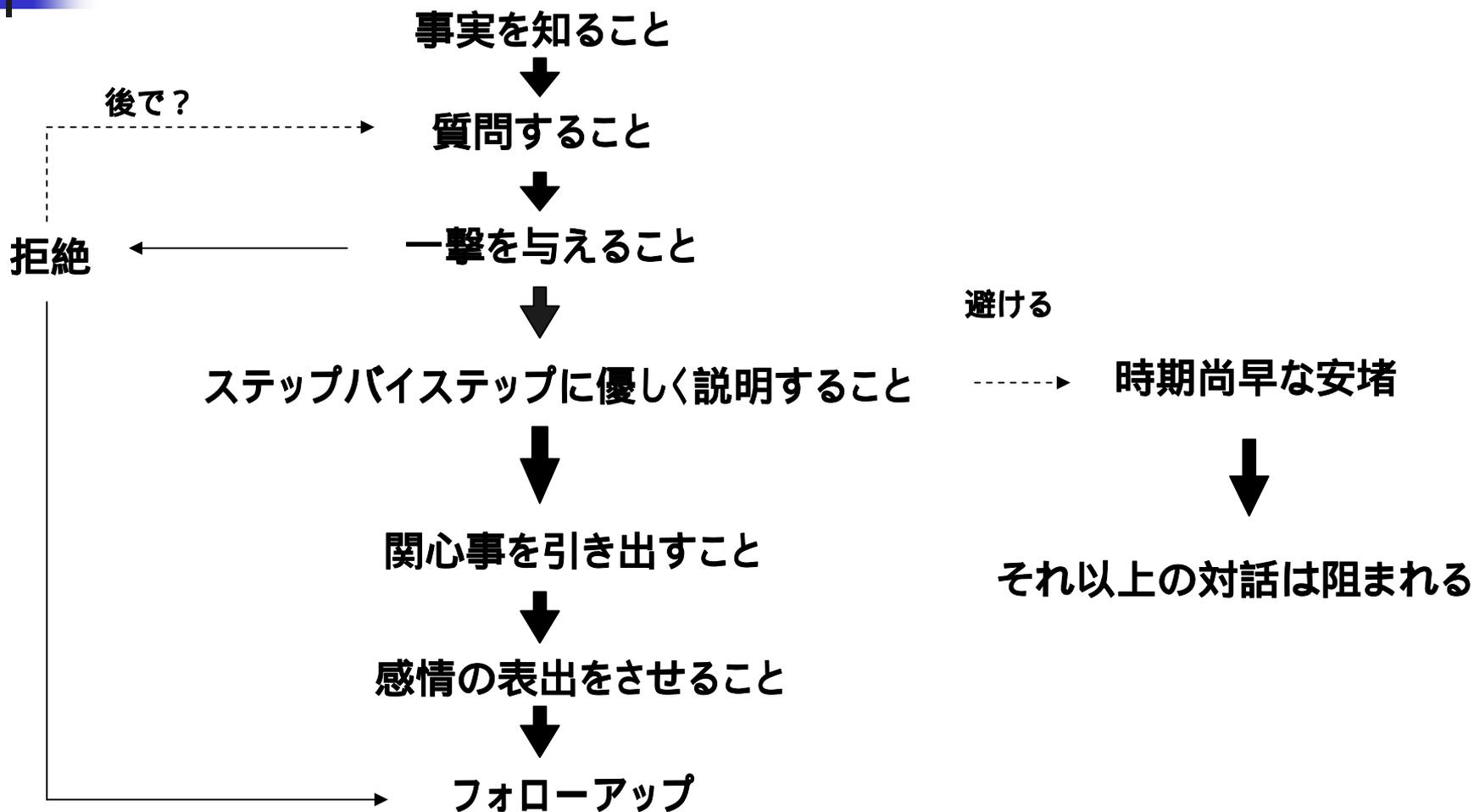


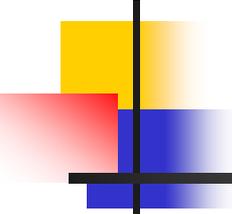
# 悪い知らせを上手に 伝えるための10のステップ

---

6. 説明しなさい(もし求められれば)  
情報のギャップを徐々に埋めなさい
7. 患者が今最も関心のあることから聴きなさい
8. 患者の感情を表出するよう勇気づけなさい
9. 関係あることをまとめ、  
治療(ケア)を計画し希望を育みなさい
10. 患者にとって利用できる人物であることを  
申し出なさい

# Breaking bad newsのモデル





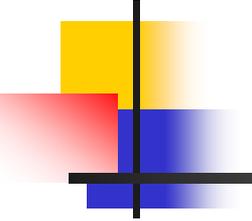
# ステップ1:準備

---

1. 患者のすべての情報を収集しなさい
2. 説明するときに患者と一緒に聞いてもらうのは誰が良いのか？
3. 説明の日時を決めなさい
4. 静かで邪魔の入らない部屋で座り心地の良い椅子を使いなさい
5. 時間を区切りなさい
  - 30分(1時間)で区切りなさい
  - 説明は25分(50分)で終わりなさい
  - 残りの5分(10分)は質問タイム
  - 30分は余分に用意しておくこと

## キーポイント

電話で話すのは避けましょう。



## ステップ2： 患者はどこまで知っているのか？

---

あなたはご自分の病気についてどこまでご存じですか？

### 患者の話から得られる情報

理解力のレベル

言葉使い

主な関心事

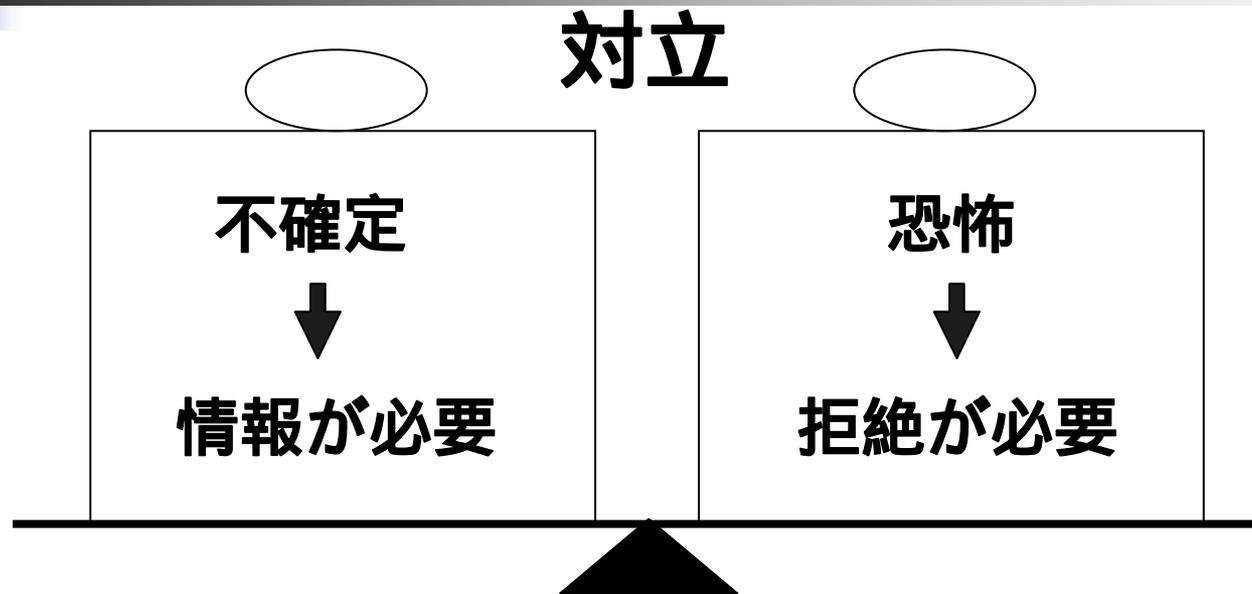
考え方(例えば薬に対する)

将来に対する期待

キーポイント

医師は患者の知識(病気に関する)を軽視しがちである

## ステップ3:患者はもっと情報を望んでいか?



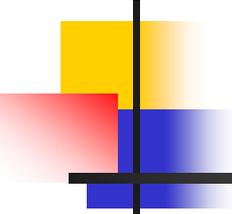
患者が情報をもっと望めばステップ5へ

患者が曖昧であれば情報を伝えるか伝えないかについて話さない

患者が拒否すればそれ以上話してはいけない

### キーポイント

患者はしばしばそれ以上の情報を受け取ることが怖がっている



## ステップ4：拒絶を許しなさい

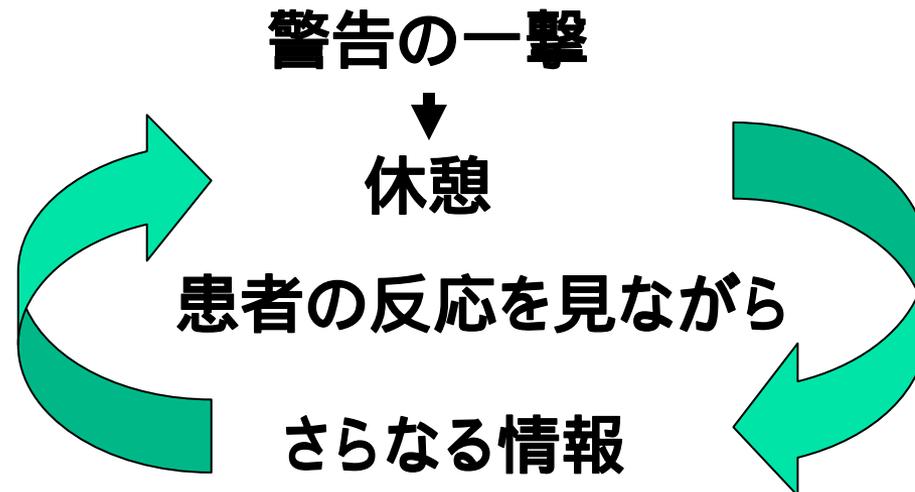
- 拒絶は恐怖に対する対処法の一つ
- 対処法の一つとして尊重されるべき
- もし患者が話題を変えたら、それ以上の情報を望んでいないと判断すること
- 望まれない情報を提供すると、恐怖と怒りが込み上がる
- ずっと拒絶する患者がいる－患者が安心する話題から提供する
- 拒絶している患者は、すべての人に対して拒絶しているわけではない  
35%は医療職，69%は配偶者に，85%は熟練のインタビュアーに自分の病気のことについて話した
- もし患者が恐怖にうち勝とうとしていると思ったら、  
あるいはコミュニケーション不足で怒っているならば、拒絶にチャレンジしなさい  
病気はどうなっていると思いますか  
病気についてどのように考えていますか  
重症かもしれないと思っていますか

### キーポイント

拒絶は信頼の欠如と恐怖によって引き起こされる

# ステップ5：警告の一撃

- 新しい情報は徐々に与えられるべきである
- 段階を追って(婉曲法を使って)始めなさい  
(問題がある, 影がある, しこりがある, 腫瘍がある, 癌がある)

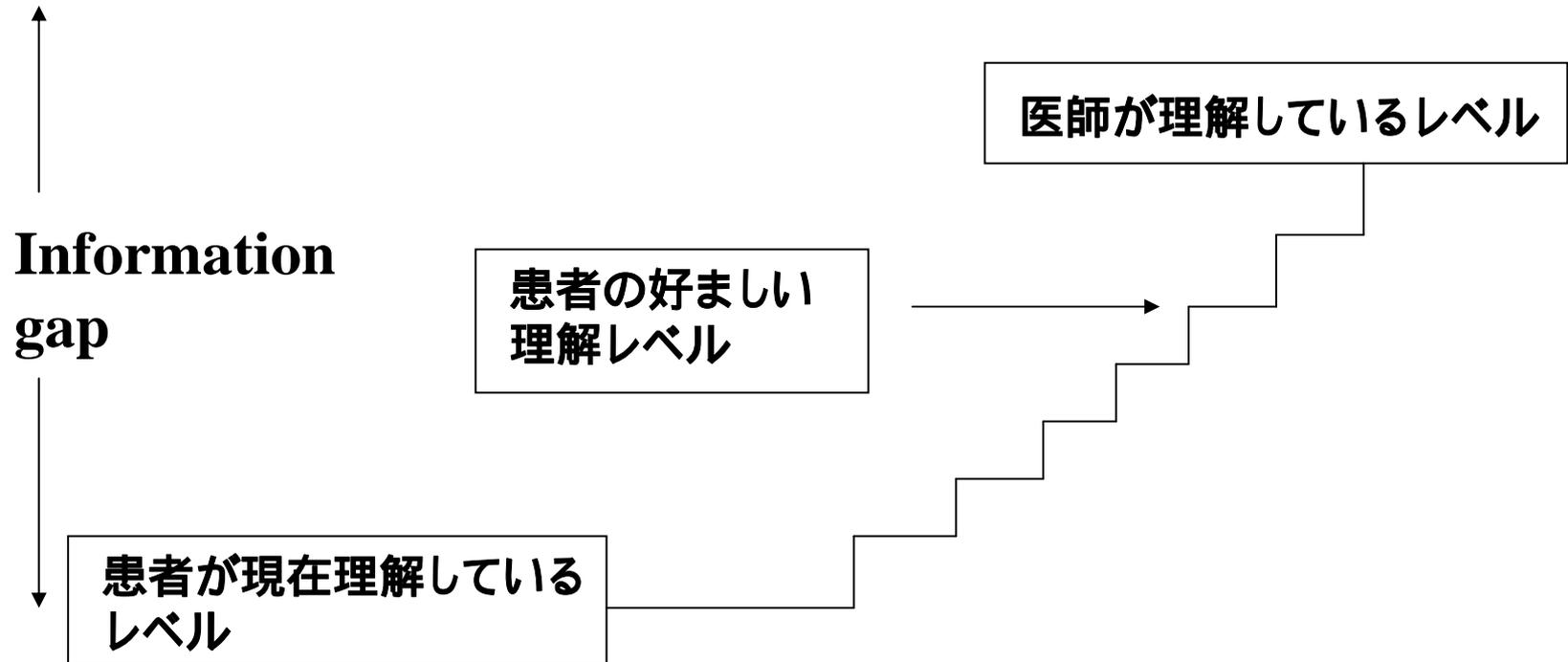


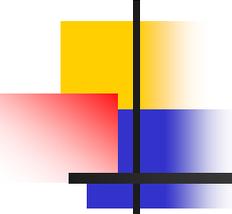
## キーポイント

患者が使っている言葉を繰り返すことから始めなさい

# ステップ6：説明しなさい (もし求められたら)

この目的は情報のギャップを埋めることである





## ステップ6：説明しなさい (もし求められたら)

- はっきりと簡単にしなさい(詳しいことは後でよい)
- 平易な言葉を使いなさい。耳障りな表現は避けなさい。
- 専門用語を使ってはいけない
- 理解しているかチェックしなさい
- できる限り明るく振舞いなさい
- 詳しいことを説明する前に関心のあることから説明しなさい
- 説明をやめるときを知りなさい; (話題を変えたり、よそを見たり、手をもじもじさせたり、そわそわしたり、これらはすべて適切な情報量を超えていると判断しなさい)

### キーポイント

伝え方が悪ければ、情報は伝わらない

# ステップ7: 関心のあることを引き出しなさい

## 今一番の悩み(心配事)は何ですか？

悪い知らせを説明した後で関心のあることを引き出すことは基本である

悪い知らせ

患者は苦悩する

関心のあることを引き出しなさい

患者は相談したことに満足するでしょう

患者は情報やサポートに報いることができるようになる

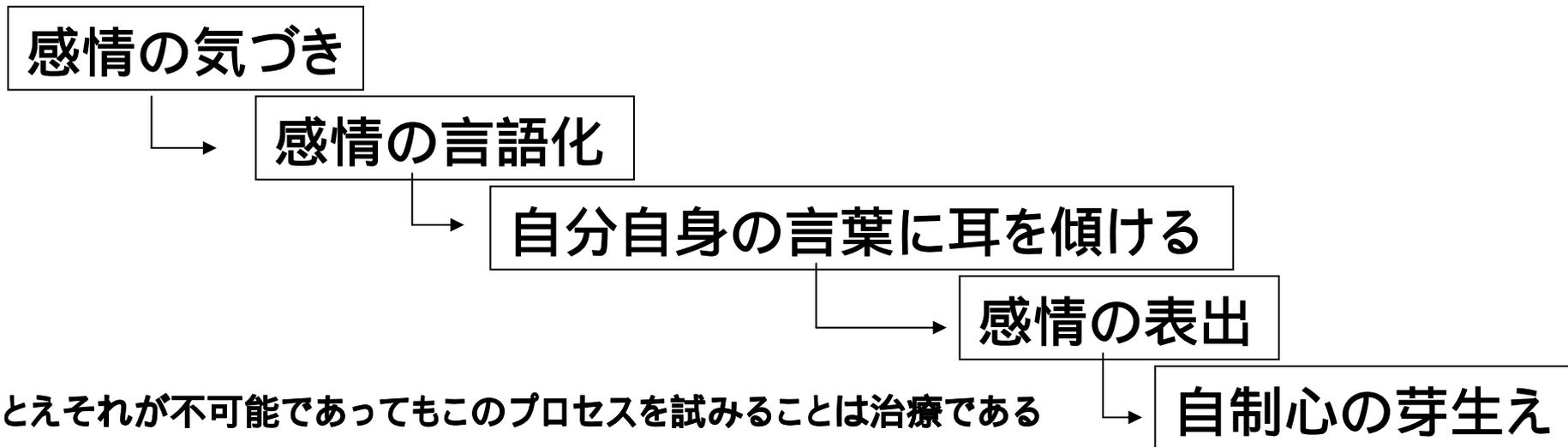
時期尚早な元気づけ

過剰な説明

患者は相談しなければ良かったと思うでしょう

# ステップ8：感情の表出

このステップは、キー・フェイズである。対話の治療的側面を提供する。患者が自分の気持ちを表出することを助けることが目的である



たとえそれが不可能であってもこのプロセスを試みることは治療である

強い感情(恐怖、怒り)が現れれば、まもなく静まる

私たち自身のこのステップにおける不快感は饒舌になるか、そっけなくなるかである。

平静になりなさい。そして患者が自己の感情について考える時間を許しましょう

いま、どう感じていますか、よかったら、話していただけますか

# ステップ9:まとめと計画

患者の関心を確認

利用できるサポートの提示

治療の選択肢の提示

## まとめと計画

リーダーシップを示す

患者の個性を尊重する

非現実的な約束をしない

最悪の事態のための準備(非現実的な恐怖を少なくする)

最後まで望みを捨てない

## キーポイント

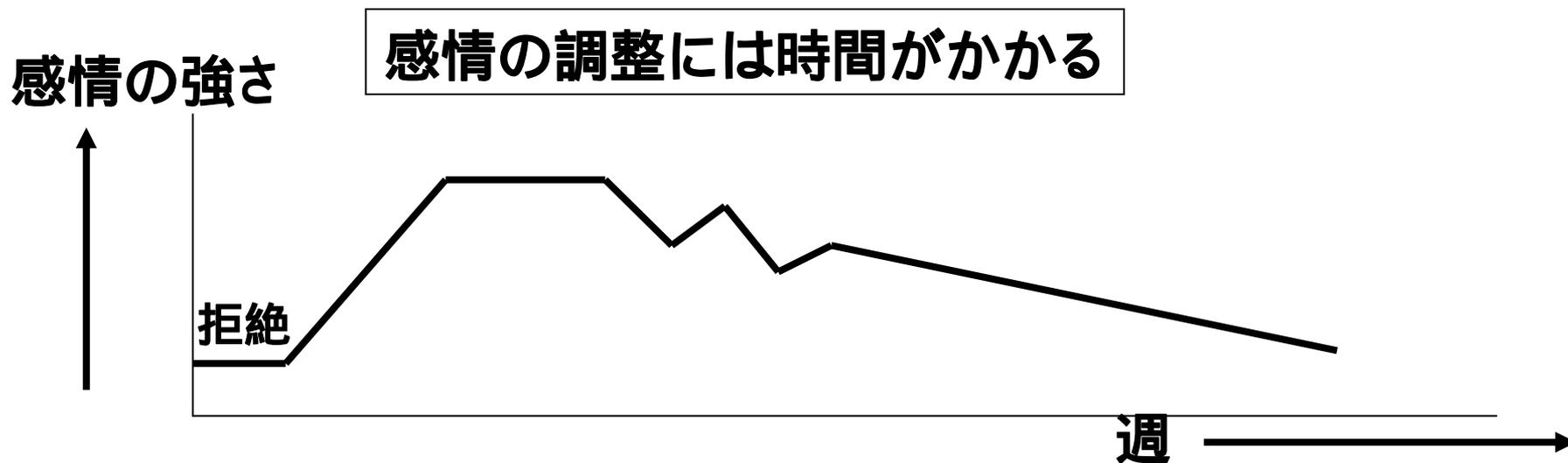
最後は「もう少し時間がありますが、

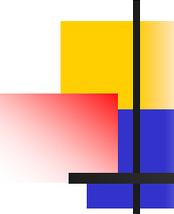
なにか他に話し合っておくことはありませんか？」で終わりましょう

# ステップ10:利用できる 人物であることを申し出なさい

## 利用できる人物であることが重要である理由

1. 更なる説明をするため
2. 感情を調整するため
3. 家族に会うため





# コミュニケーション スキルの基本

---

**ファーストインプレッションは大切**

会って最初の10分でその人の印象の90%が決まってしまう

さらに、その80%は言葉以外の印象である

見た目は大切！（清潔感のある服装を）

香水も程々に！（においにも気を配って）

爪は切っていますか

笑顔は大切！

言葉使いも大切！（優しさと馴れ馴れしさは違う）

「おじいちゃん」、「おばあちゃん」と呼ぶことはやめましょう

ご静聴ありがとうございました

